

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	国文学		
科目基礎情報								
科目番号	600102		科目区分	一般 / 選択				
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2				
開設学科	生産工学専攻 (機械工学コース)		対象学年	専1				
開設期	前期		週時間数	2				
教科書/教材	プリント、授業内で指定する書籍 (文庫本)、青空文庫に公開されている作品テキストを使用							
担当教員	沼田 真里							
到達目標								
1. 日本近現代文学について、基本的な知識と教養を身につける。 2. 文学作品を読み解き、独自の観点や評価を導き出すことができる。 3. 先行研究を的確に用いて、論理的文章を書くことができ、多様な意見をふまえながら、自分の考えや意見を発展させることができる。								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安			
評価項目1	日本近現代文学について、基本的な知識と教養を身につけ、理解を深めている。		日本近現代文学について、基本的な知識を身につけている。		日本近現代文学について、基本的な知識と教養をもてない。			
評価項目2	文学作品を読み解き、独自の観点や考察を導き出すことができる。		文学作品を読み、その内容について、感想をまとめられる。		文学作品を読み、その内容について理解できず、感想も書けない。			
評価項目3	先行研究を的確に引用しながら、自分の考えを、論理的文章で書くことができる。		先行研究を調査し、その内容をまとめることができる。		先行研究の調査ができず、論理的文章が書けない。			
学科の到達目標項目との関係								
教養 (D)								
教育方法等								
概要	本科の国語から発展し、日本近現代文学の知識を深めると同時に、作品読解や作家研究について実践的に学びます。資料調査と作品分析により独自の観点を導き出し、論理的文章にまとめて発表することで、読解力、表現力、文章力を高めます。							
授業の進め方・方法	最初の数回の講義では、日本近現代文学についての講義、作家研究・作品研究についての講義をします。その後、実際に参加者が作家分析・作品分析の発表をします。質疑応答や意見交換をしながら、内容理解を進めます。とりあげる作品は初回の授業で説明しますが、発表では夏目漱石 (「こころ」「夢十夜」など)、森鷗外 (「阿部一族」「高瀬舟」)、芥川龍之介 (「河童」)、井伏鱒二 (「へんろう宿」) などを中心に、近現代の作家の作品を扱います。							
注意点	学習単位を導入するので、レポートの提出は必ず行うこと。 また、各回ごとに積極的な意見交換を求めると、必ず作品を読んで参加してください。 *** この科目は専攻科講義科目 (2単位) であり、総学修時間は90時間である。(内訳は授業時間30時間、自学自習時間60時間である。) 単位認定には60時間に相当する自学自習が必須であり、この自学自習時間には、担当教員からの自学自習用課題、授業のための予習復習時間、理解を深めるための演習課題の考察時間、および試験準備のための学習時間を含むものとする。							
本科目の区分								
授業の属性・履修上の区分								
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業		
授業計画								
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標		
		1週	ガイダンス			1 (知識)		
		2週	正岡子規と死生観 (『墨汁一滴』、『病牀六尺』)			1 (知識)		
		3週	正岡子規と死生観 (『墨汁一滴』、『病牀六尺』)			1 (知識)		
		4週	夏目漱石と死生観 (則天去私論争をふまえて)			1 (理解)		
		5週	夏目漱石と死生観 (作品を参考に)			1 (理解)		
		6週	森鷗外の作品と死生観			1 (理解)		
		7週	文豪たちの死生観と同時代 (まとめ)			1 (理解)		
	8週	郷土と文学——森盲天外について			1 (理解)			
	2ndQ	9週	学生の発表 / 講義			1 (理解) , 2 (分析と考察) 3 (表現)		
		10週	学生の発表 / 講義			1 (理解) , 2 (分析と考察) 3 (表現)		
		11週	学生の発表 / 講義			1 (理解) , 2 (分析と考察) 3 (表現)		
		12週	学生の発表 / 講義			1 (理解) , 2 (分析と考察) 3 (表現)		
		13週	学生の発表 / 講義			1 (理解) , 2 (分析と考察) 3 (表現)		
		14週	学生の発表 / 講義			1 (理解) , 2 (分析と考察) 3 (表現)		
		15週	期末試験					
16週		試験返却						
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週	
評価割合								
	試験	発表	レポート		ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	60	20	20	0	0	0	100	
基礎的能力	60	20	20	0	0	0	100	

專門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0